

質 問 書

※ この MS-WORD 文書のまま送付をお願いいたします。(PDF 等のフォーマットへ変換しないでください。)

2020 年 10 月 8 日

「フィリピン ODA 事業(土木・建築工事)におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)推進にかかる情報収集・確認調査(一般競争入札(総合評価落札方式))」

(公示日:2020 年 8 月 26 日/調達管理番号:20a00530)について、以下のとおり質問します。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P 3 5. 競争参加資格	現在フィリピンで実施中の円借款案件の施設サプライヤーである企業は、本件調査に JV 格または補強として参加できますでしょうか。	参加可能です。
2	P 12 1. 業務 の背景・目的	貴機構は対フィリピン共和国国別分析ペーパー(2020 年 7 月)において、産業・インフラ等の分野における DX 推進のためのデジタル技術を含めた先進技術の活用の検討・推進が必要である旨分析しており、本事業はこれら方針・分析に合致する。とありますが、「フィリピン共和国国別分析ペーパー」を共有いただけますでしょうか。また、「本事業」とはどのような事業を想定していますでしょうか。	対フィリピン共和国国別分析ペーパー(2020 年 7 月)は、配布依頼書の提出のあった企業にメールで送付致します。 「本事業」とは、当調査「フィリピン共和国の ODA 事業(土木・建築工事)におけるデジタルトランスフォーメーション(DX) 推進にかかる基礎情報収集・確認調査」を指します。詳細は P.13-P.15 をご参照ください。
3	P 13 4. 実施方針及び留意事項 (2)土木・建築工事分野の検討範囲について	検討範囲に含まれている建築施設(保健医療施設)につきまして、公開情報ではフィリピンにおける対象事業が見当たらないようですが、想定している事業がありましたらご教示ください。	財政支援無償「違法薬物使用者治療強化計画」を指しています。 以下、関連ニュースリリース https://www.iica.go.jp/press/2017/20170403_03.html

通番号	当該頁項目	質問	回答
4	P 13 4. 実施方針及び留意事項 (4) デジタル技術の検討範囲について	プロジェクト・マネジメント(PM)ツールとしてのデジタル技術の適用検討は含まれるでしょうか。	現時点では、プロジェクト・マネジメント (PM) ツールとしてのデジタル技術は、本調査の検討範囲に含まれるものとお考え下さい。プロポーザルでは、説明書記載の「リモート化」等の目的(下記)を踏まえて、ご提案ください。 P.13 の 4. (4) デジタル技術の検討範囲について 既に日本国内外で活用されている「リモート化」「省人化」「生産性向上」「効率化」を目的とする技術(AI、IoT、BIM/CIM、ドローンや XR 等)及び今後活用の期待される技術を検討対象とする。現時点で適用の可能性が見込まれる技術については、アイデアとしてプロポーザルの中で提案すること。
5	P 14 5. 業務の内容 (2) 現状分析	日本国内とフィリピン国内の現状が調査対象となっておりますが、両国以外のデジタル技術の現状については調査対象外でしょうか。	説明書に記載の通り、最新技術の活用事例において必要であれば、両国以外でもヒアリング先として含めて頂ければと思います。 以下、該当箇所 P.14 の 5. (2) 2) 国内外に限らずヒアリング先の候補があればプロポーザルの中で提案すること。
6	P 14 5. 業務の内容 (3) 今後の JICA 事業へのデジタル技術適用の検討及び提案	貴機構がフィリピンで実施予定の ODA 事業のリストを共有いただけますでしょうか。	事業の実施は確定していませんが、協力準備調査を実施中の案件は以下のとおり。 - 中央ミンダナオ高規格道路整備事業 - ダルトンパス東代替道路建設事業
7	P 14	本件調査に JV 格または補強として参加する企	参加可能です。

通番号	当該頁項目	質問	回答
	5. 業務の内容 (3)今後の JICA 事業へのデジタル 技術適用の検討及び提案	業は、本調査の結果を受けて将来的に組成される各種資金協力案件(円借款、無償資金協力含む)の実施に参加できますでしょうか。	

以上